

ウイルス対策ソフト市場

法人向け本格参入

ジーデータソフト

一括管理型製品を投入

ドイツのGデータソフトウェアの完全子会社のジーデータソフトウェア(東京都千代田区、山本ジャグ社長、03・3526・6605)は、法人(企業や官公庁)向けウイルス対策ソフト市場に本格参入した。日本ではこれまで個人向けがメインだったが、今後は法人向けを主体とする。第1弾としてグローバルワイズ(愛知県刈谷市、伊原栄一社長、0566・61・2060)と業務提携し、一括管理型企業向け製品2種を国内投入した。2010年度に15万本、11年度には30万本の販売を目指す。

独Gデータはセキュリティ対策ソフト会社。ドイツではセキュリティ対策ソフト販売で約700社と連携し、市場シェアは約25%。07年に日本法人を設立し、対日戦略を強化してきた。まずは自動車産業が集積する中京地域を攻略

ール機能を付加した高機能版「クライアントセキュリティ・ビジネス」。価格はアンチウイルス・ビジネスが1基本ソフト当たり5500円から、高機能版が同5900円から。12月末まで

特別キャンペーンとして最大60%値下げする。Gデータは二つの性質の異なるスキヤンソフトを使用し、ウイルス検出率99・9%を達成している。セキュリティ関連の国内外の代表的な性能

テスト番付でトップクラスに位置する。

し、全国展開につなげる方針。そのため同地域で実績を持つグローバルワイズと販売総代理店契約を結んだ。新製品はマネジメントサーバから全端末のウイルス対策を管理する「アンチウイルス・ビジネス」と、ファイアーウォ